

## 年頭のご挨拶



参議院議員  
泉 信也

新春の候、皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

旧年中は一方ならぬお力添えを賜り、誠にありがとうございました。

今年も皆様のご理解のもと、運輸界を代表する自由民主党の議員の一人として精一杯活動して参りたいと存じます。

平成4年に国政へお送りいただきましてから参議院運輸委員長、国土交通副大臣、経済産業副大臣、参議院政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会委員長等を務め、現在は、参議院決算委員会委員長を始め、自由民主党道州制調査会会長代理、参議院政策審議会決算部会長などを拝命いたしております。

これも偏に皆様のお力添えの賜と、深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

さて、わが国経済は長いトンネルを抜け、いまや戦後最長の景気拡大が続いていると云われています。しかしながら、少子高齢化の進展、情報のグローバル化、産業構造の変化などにより、これまで日本の発展を支えてきた社会経済システムの見直しが迫られています。

一方、政府は昨年、新しい成長をめざした「新経済成長戦略」を打ち立てるとともに、それを「経済財政運営及び構造改革に関する基本方針」（いわゆる2006骨太方針）に盛り込み、

年率2.2%以上の成長戦略として具体的にその政策を実行して行くことにしています。今年はその元年となります。

こうした中、公共事業をめぐる環境も次第にその姿を変えてゆくものと予想されますが、申し上げるまでもなく、社会資本は、国民が安心して安全に生活を営み、経済活動を行う上で極めて重要な基盤であり、その整備に停滞があってはなりません。とりわけ、港湾は、わが国産業の国際競争力の確保と国益を守る基本施設であると同時に、地方経済を支える極めて重要な社会基盤であります。更には、大規模地震や津波災害などへの対応も急務となっております。

こうした観点に立って、必要な公共事業の整備促進が図られるよう、責めを果たして参る所存であります。より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、本年7月には参議院選挙が行われますが、運輸界の課題の解決に向け、一人でも多くの仲間を国政にお送り頂きますよう、皆様の力強いご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして大いなる発展の年になりますことを心より祈念いたしますとともに、社団法人日本作業船協会のみますすのご隆盛をお祈りし、新年のご挨拶といたします。